

魅力発信・観光・商業地賑わいワーキング (魅力発信・観光部会)		担当取組項目： 情報発信等 1～4,7～13, 20～23, 67 教育 5,6
【第 2 回推進会議以降の主な取り組み】 ○2 部会（魅力発信・観光部会，商業地賑わい部会）に分けて検討を行い，同日開催として両部会の連携を図っている。 ○タウン誌，ホームページ，ラジオ番組の編集・制作のための「向島まちづくり情報発信グループ」を立ち上げ，活動をスタートさせた。タウン誌，ホームページ，コミュニティ FM ラジオ番組を通して，向島のまちづくり情報を発信することによって，向島ニュータウン，向島地域の住民と事業者・店舗を結び，「多文化・多世代共生のまちづくり」に貢献する。		
主な構成メンバー (敬称略)	リーダー	(神門 (向島まちづくり情報発信グループ)，田中 (中小企業家同友会))
	進捗管理	京都市都市総務課，アルパック
	地域住民	増田 (1 街区)，西田 (3 街区)，橋爪 (3 街区)，橋本 (藤ノ木赤十字支部長)，宇野 (向島東公園愛護協力会)，福井 (二の丸北各種団体連絡協議会)，上代 (向島学区自主防災会)，奥田 (向島学区)，神門 (向島駅前まちづくり協議会)，西谷 (向島南学区)，田嶋 (向島藤ノ木学区社協他) 他
	事業者	向島ニュータウン商店会，中嶋農園，山本牛乳店，千姫を偲ぶ会，中小企業家同友会 他
	その他	すばる高校，京都市住宅供給公社，伏見区役所，向島図書館 他
今年度取り組むプログラム・取組	7 8 9 21 22 23 97 98	まちあるきマップ作成と歴史のまちあるき企画の実施 向島秋の祭典・千姫行列等地域のまつりの実施 農を活かした来訪者の呼び込み ポータルサイト開設・運営 タウン誌の発行 地域放送局 (団地ラジオ) の設立・運営 24 号線沿い賑わい施設整備の検討 向島ニュータウン商店街の空き店舗及び広場の活用
平成 30 年度 主な活動の報告	向島まちづくり情報発信グループの立ち上げ 向島まちづくり情報発信グループ会議 (11/1, 11/26, 12/20)	
向島まちづくり情報発信グループの取組について		
○向島まちづくり情報発信グループの目指すもの ・①ホームページ，②コミュニティ FM ラジオ番組，③タウン誌を通してまちづくり情報を発信することで，向島ニュータウン，向島地域の住民と事業者・店舗を結び，「多文化・多世代共生のまちづくり」に貢献する。 ・災害時における情報のネットワークづくりを行い，安心して暮らせる向島ニュータウンと向島地域を目指す。 ・向島地域外への情報発信により，向島へ人を呼び込み，向島ニュータウンの活性化を図る。 ・月 1,2 回，情報発信グループの会合をもって進めていく。		
①ホームページ 向島まつり「向島まちづくり情報発信ポータルサイト」 ・ホームページを見やすく，便利なものにしていきたい。		

- ・「向島まちづくり通信」に掲載している個々の活動を取り上げてホームページに掲載する。あわせて、活動の一つひとつを「かわら版」として掲載する。
- ・フェイスブックで「向島まちづくりビジョン推進会議」を開設した。ワーキング会議の連絡や活動報告を行うなど、情報発信に活用していきたい。

②京都文教大学学生放送局と連携したFM84.5放送

- ・京都すばる高校放送部とのコラボ企画で、インド・インターナショナル校の取材放送を行う（12/23放送予定）
- ・12月はヨガ体験やインタビュー、来年1月は中国帰国者の取材を行う予定。

③タウン誌の発行

- ・これまでに「向島まちづくり通信」を3ヶ月ごとに発行し、全戸配布によって地域情報が住民に共有されている。活動への参加のきっかけとなるように、「まちづくり情報かわら版」をポスター形式A3版で8月から不定期で発行する。
- ・向島内外に向けて、「向島まちづくり通信」とは全く別形態のタウン誌による情報発信を検討する。タウン誌発行へ向けて編集会議を継続的に開催し、編集長はじめ編集局の体制をつくる。タウン誌発行の優れた経験を学ぶ学習会を開催する。
- ・京都市の補助がなくなっても、継続発行できる財政的基盤について持続的に検討を進める。

○今後の取組

向島まちづくり情報発信グループ会議

日時 12月20日（木）午後2時～4時 会場 3街区C棟集会室 議題 タウン誌について

新しいタウン誌発行について

向島まちづくり情報発信グループ 神門

(1) 第2回「向島まちづくり情報発信グループ」の会議を開催した

＊日時：11月26日(月)午後2時～4時 会場 3C棟集会室

＊出席：神門(代表)、福井(3B棟)、※濱田(3E棟)、角野(4街区)、※菅(4街区)、※菅(11街区2棟)、奥田(向島)、門川(健幸プラス)、齋藤(京都市)、※亀村(京都市)、森川(デザイナー)の11人。※印は今回初参加の方

(2) ホームページ「向島まつり-向島まちづくり情報発信ポータルサイト」について

＊トップページに、①ニトリの「カフェ付き家具・インテリア販売店」が来年8月開店の記事、②あしなが育英会が「アフリカ青少年のための「京都志塾」などの構想案の記事を新たに持ってきて、ホームページに入りやすくした。これらの問題で、ネットで検索すると「向島まつり」ホームページが上位に来るようになっている。

＊今後、向島秀蓮小中学校の記事、向島中央公園第2期工事の記事、向島学生センター記事などを掲載していく予定。

＊フェイスブックについて

(3) 新しいタウン誌の発行について

①デザイナーの森川さんよりタウン誌について

＊12ページ、A5版大を正方形にしたもので提案があったが、出席者から意見があり、第1号については8ページ建てで作成することにした。

＊発行時期について、来年3月までに発行をめざす。発行部数は5千部～8千部

②8Pの版立てについて

＊1P：表紙：森川氏よりタウン誌のネーミングについて『むかいしまだいすき』との提案があった。ネーミングについては今後検討することにした。

※表紙のイメージ写真について、子どもや若いおかあさんなどをつのることに。向島中央公園を背景に撮影する場合、いまの時期に撮影する必要があるが、日程的に難しいので、撮影場所については向島中央公園にこだわらないことにした。

＊2P：コンセプト及び目次 8ページ建てなので目次は必要ないのではとの意見もあった。

＊3P：注目の人：第1回はインターナショナルスクールのクンナ・ダッシュュさんを掲載する方向で調整する。

＊4P：お店紹介：第1回は、農園レストラン「アグリ」で調整することにした。

＊5P：若い人からのメッセージ。第1回は、「京都文教大学学生放送局の紹介とその取り組み」の線で調整する。

＊6P：伏見の防災・歴史など。第1回は京都文教大学の小林先生に「向島城と伏見城」のようなテーマで依頼する方向で調整することにした。

- * 7 P：まちのイベント情報・行事カレンダー
- * 8 P：広告。広告については集まる状況に応じて他のページの一部分にも掲載する

③役割分担について

- * 1 P、全員で当たるが、当面神門、福井、森川
 - * 2 P、神門、森川、杉本先生
 - * 3 P、神門、濱田、菅（4街区）、亀村、森川
 - * 4 P、福井、菅（11街区）、奥田、亀村、森川
 - * 5 P、神門から学生放送局に依頼する。杉本先生にも協力をお願いする。
 - * 6 P、神門から、小林先生に依頼する。
 - * 7 P、福井、奥田
 - * 8 P、神門、福井
- ※福井さんより、向島秀蓮小中学校、向島中央公園についての記事を入れたいとの意見があり、どのページに入れるか検討する。

（４）次回の会議日程について

- * 日時：12月20日（木）午後2時～4時
- 場所：3街区C棟集会室

以上

魅力発信・観光・商業地賑わいワーキング (商業地賑わい部会)		担当取組項目： 商業施設等 97～105 雇用 111, 112
【第2回推進会議以降の主な取り組み】 ○2部会（魅力発信・観光部会，商業地賑わい部会）に分けて検討を行い，同日開催として両部会の連携を図っている。 ○賑わいづくりやまちの魅力発信をめざして，地域団体や事業者のグループが連携して，「元気バザール（9/23）」「むかいじま すまいるマルシェ（9/23）」を開催した。むかいじま すまいるマルシェは向島まつり（10/28（日））にも出店し，事業者と地域が連携したマルシェの取組が軌道に乗ってきた。		
主な構成メンバー (敬称略)	リーダー	(中嶋（中嶋農園），戸田（中小企業家同友会）)
	進捗管理	京都市住宅供給公社，アルパック
	地域住民	増田（1街区），西田（3街区），橋爪（3街区），橋本（藤ノ木赤十字支部長），宇野（向島東公園愛護協力会），福井（二の丸北各種団体連絡協議会），上代（向島学区自主防災会），奥田（向島学区），神門（向島駅前まちづくり協議会），西谷（向島南学区），田嶋（向島藤ノ木学区社協他）他
	事業者	向島ニュータウン商店会，中嶋農園，山本牛乳店，千姫を偲ぶ会，中小企業家同友会 他
	その他	すばる高校，京都市住宅供給公社，伏見区役所 他
今年度取り組むプログラム・取組	7 8 9 21 22 23 97 98	まちあるきマップ作成と歴史のまちあるき企画の実施 向島秋の祭典・千姫行列等地域のまつりの実施 農を活かした来訪者の呼び込み ポータルサイト開設・運営 タウン誌の発行 地域放送局（団地ラジオ）の設立・運営 24号線沿い賑わい施設整備の検討 向島ニュータウン商店街の空き店舗及び広場の活用
平成30年度 主な活動の報告	第1回ワーキング会議（4/21） 洛西マルシェ視察 第2回ワーキング会議（6/9） 南港DIYマーケット視察（7/1） 向島駅前わいわい元気バザール（6/24） 第3回ワーキング会議（7/22） 浜大津こだわり朝市視察（8/19） 第4回ワーキング会議（9/1） 元気バザール・むかいじま すまいるマルシェ（9/23） 向島まつり（10/28） 第5回ワーキング会議（11/10）	
第4回ワーキング 平成30年9月1日（土）参加者：12名		
○協議事項 経過報告 浜大津こだわり朝市，向島まつり，ニトリ		
○今後の取組 ・元気バザール（9/23），むかいじま すまいるマルシェ，向島まつり（10/28）の実施に向けて ・情報発信の取組について		

向島駅前わいわい元気バザール・むかいじますまいるマルシェ 平成 30 年 9 月 23 日（日）

- 地域団体主催による「わいわい元気バザール」と、地域の事業者主催による「むかいじま すまいるマルシェ」が連携して、同日開催で事業を行った。
- 「むかいじま すまいるマルシェ」は駅前の賑わいづくりを目指して実験的に駅前広場を活用し、「わいわい元気バザール」は前回と同様に向島駅前中央公園西詰め広場で開催した。

○わいわい元気バザール（第 2 回）

- ・ 共催 NPO 向島駅前まちづくり協議会、愛隣館、チャンドラ・セカール・アカデミーインターナショナルスクール、協力 「向島まつり」実行委員会
- ・ 日時・場所 9/23（日）午前 10 時～14 時 向島駅前中央公園西詰め広場
- ・ 内容 新鮮野菜市 手作り小物とバザー 天然酵母のパン・ケーキ ヨガ教室



○むかいじますまいるマルシェ（第 1 回）

- ・ 主催 向島の事業者グループ（中嶋農園、健幸プラス、山本牛乳等）
- ・ 日時・場所 9/23（日）午前 10 時～14 時 向島駅前広場
- ・ 内容 新鮮野菜市 きき酒 健康チェック 紙飛行機



第 5 回ワーキング 平成 30 年 11 月 10 日（土）参加者：9 名

○協議事項

経過報告 元気バザール（9/23）、むかいじま すまいるマルシェ（9/23）、向島まつり（10/28）
情報発信の取組、ニトリの説明会

○今後の取組

- ・ 元気バザール、むかいじま すまいるマルシェの実施について
向島駅前わいわい元気バザール 12/23（日）予定
- ・ 情報発信グループの取組について
- ・ その他 駅前活性化等

住環境+防犯		担当取組項目： ・住環境：24～40, 65, 66, 106～110 ・防犯：88～96
【第2回推進会議以降の主な取り組み】 ○住環境パトロール 9月から再開し、向島藤ノ木学区周辺や夜間の中央公園等にて実施した。今後は、向島秀蓮小中学校の開校に伴い、通学路の危険箇所等を確認し、整理していく。 ○近鉄バスの改善 向島5学区で協議を進め、地域住民の利便性向上と近鉄バスの持続的な運営を目指し、活動を推進していく。 ○2018年度中央公園改修工事について これまでに課題に挙げられていた園路のバリアフリー化、鉄柵、(車椅子使用車が通れない)ゲート等を改めて見直し、改修工事に取組む。		
主な構成メンバー (敬称略)	リーダー	小林(京都文教大)、(防犯：雪丸(向島藤ノ木防犯推進協議会))
	進捗管理	京都市都市総務課
	地域住民	増田(向島二ノ丸学区子ども見守り隊) 日高(二の丸北学区社協)、福井(二ノ丸北各種団体連絡協議会)、宇野(向島東公園愛護協力会)、山内(向島藤ノ木学区民生・児童委員協議会)、山崎(向島中央公園愛護協力会)、神門(向島駅前まちづくり協議会)、高木(笑顔つながろう会)、田嶋(8,9街区自治会長)、内林、福岡、森田(1街区)、橋詰(3街区)、志賀(5街区)、松本(6街区)、中西(向島；伏見地域交通安全活動推進委員協議会、向島交番協議会、向島防犯委員)、駒井(向島二ノ丸；交通安全推進委員)、山本(向島南；世界一安心安全おもてなし担当者会議、安心安全ネットワーク)、長井(伏見区平安レディース隊向島藤ノ木支部) 他
	その他	山本(市住宅公社)、村重(区役所地域力推進室) 他
今年度取り組むプログラム・取組	31 34 38 39 65 91 93 96	市営住宅集会所のリニューアル整備 中央公園、東公園の樹木等の再整備 市営住宅・住宅供給公社共用施設、設備の改修 住民参加による老朽化した共用施設の再整備 住環境パトロール活動の実施 住民による美化活動の充実 安全・危険情報の地域内周知、高齢者や障害者が参画する防犯活動 横断歩道の場所改善・拡充
平成30年度 主な活動の報告	第3回 WG 会議	○向島二の丸小・向島中跡地地元利用検討合同ワーキングについて ○近鉄バスの運行改善方策検討の進め方について ○2018年度中央公園改修工事について
	第4回 WG 会議	○向島二の丸小・向島中跡地地元利用検討合同ワーキングについて ○近鉄バスの運行改善方策検討の進め方について ○2018年度中央公園改修工事について
	第5回 WG 会議	○「京都市市営住宅ストック総合活用計画」について

		○向島二の丸小・向島中跡地地元利用検討合同ワーキングについて ○近鉄バスの運行改善方策検討の進め方について ○2018 年度中央公園改修工事について ○「住環境パトロール」報告について
第3回ワーキング 平成30年8月28日（火） 参加者：14名		
○向島二の丸小・向島中跡地地元利用検討合同ワーキングについて - 第2回合同WGについて報告が行われた。それを受けて、中学校の見学や教室のバリアフリーの確認など、跡地利用に向けて意見交換がなされた。また将来を見据えて、利用実績の積み重ね、現実的な運用ルールを模索していく必要性についても述べられた。 ○近鉄バスの運行改善方策検討の進め方について - 中書島や大手筋への利便性向上を目指してきたが、まずは現行路線（向島駅ー竹田駅）の改善を務める。① 運行されない時間帯にも、バスを運行出来るようにする。② 始発を1時間早め、終発を1時間遅らせて、運行時間を広げる。③ 向島ニュータウンと観月橋間に停留所をつくる。④ 「向島中央」バス停留所に屋根とベンチを整備する。 ○2018 年度中央公園改修工事について - 今年度については園路のバリアフリー化、鉄柵、（車椅子使用車が通れない）ゲート等、優先順位をつけて現実的に可能な方法で実施する。 ○次回 WG 予定 9月25日(火) 19:00~20:30 於.京都文教マイタウン向島 (MJ)		
第4回ワーキング 平成30年9月25日（火） 参加者：15名		
○向島二の丸小・向島中跡地地元利用検討合同ワーキングについて 合同WGについて、報告が行われた。それを受けて、主に次の通り意見交換がなされた。 ①向島中学校の見学を実施。現実的に利用できる部屋を検討していく。 ②多世代が集まるには夜間の利用も必要と思われるため、今後検討課題としたい。 ③建物の維持・管理・光熱水費に予算がかかるため、現実的にシミュレーションをする必要がある。 ○近鉄バスの運行改善方策検討の進め方について - 市政協力委員連絡協議会の協力を得て、本件については推進していく。前回WGにて報告した改善点を中心に取組んでいく。 ○2018 年度中央公園改修工事について - 中央公園北側の鉄製の柵を撤去することが予定されていることが報告された。 - 現在、公園出入口の柵によって電動車椅子の通行が出来ない。（その背景には、バイクや自転車の通行を防ぐことが目的であるものの）公園利用について改めて考える必要があるのではないかと、問題提起がなされた。 ○次回の住環境パトロールについて 9月22日(土)に向島藤ノ木学区の東公園や10・11街区にて実施した。台風の影響で木々が倒されていたことが目立っていた。また東公園のベンチがコンクリート製であることや、10・11街区は、1街区・5街区と異なり、郵便ポストが一段下に取り付けられ取りやすくなっていることが見受けられた。 ○次回 WG 予定 11月6日(火) 19:00~20:30 於.京都文教マイタウン向島 (MJ)		

第5回ワーキング 平成30年11月6日（火） 参加者：13名

○「京都市市営住宅ストック総合活用計画（平成23年2月）」について

- ・京都市より、住宅政策マスタープランを受けて作成された京都市市営住宅ストック総合活用計画の資料をもとに説明がなされた。
- ・居住者の立場から、芝刈りやごみ置き場の施設管理上の課題について指摘があった。
- ・市営住宅の目的外使用の例として、コミュニティ活性化のため、大学の入居等が挙げられた。

○向島二の丸小・向島中跡地地元利用検討合同ワーキングについて

- ・向島秀蓮小中学校が設置されるが、これまで通り小中学校を利用できるのか、避難所としても利用できるのか、情報共有がなされた。

○近鉄バスの運行改善方策検討の進め方について

- ・11月16日に向島5学区代表者と伏見区の担当者間において話し合いを実施予定である旨が報告された。

○2018年度中央公園改修工事について

- ・12月末から園路の改修工事を開始する予定である。車いす利用者が入れるように改修する予定である。

○「住環境パトロール」報告について

- ・10月30日(火)午後7時から実施。時計台広場から中央公園等を歩いた。中央公園の東側ゾーンが暗く、また小中学校が廃校になった後はその周辺が暗くなり、安全性に問題がないか、検討する必要がある。

次回：12月8日(土)15：00～ ※旧二の丸北小学校前集合

○次回WG日程

12月4日(火)19：00～20：30 於.京都文教マイタウン向島（MJ）

子ども・若者支援 (子育て世帯等支援含む)		担当取組項目：41～52
【第2回推進会議以降の主な取り組み】 向島地域への子ども・若者支援として、小学生・中学生・ユース世代への学習支援や居場所事業に取り組んでいる。今後、未就学児や子育て層にも対象を拡げていき、幅広い支援を検討していく。 ○向島中学校跡地利用の検討について 8月1日(水)に開催された向島中学校「中学生ふれあいトーク」へ参加し、中学生と意見交換を行った。またWGメンバー内において学校の跡地の暫定利用に向けた活用方法の具体化シートを作成・集計し、具体化に向けて情報共有を図った。 ○中高生を対象としたアンケート・ヒアリング等の実施について アンケートを作成し、10月28日(日)に開催された「向島まつり」にて実施した。その後、順次アンケートの実施を検討する。 ○留学生との交流事業の実施について 留学生と地域住民が交流する「バスツアー」や映画祭ならびに多文化共生をテーマとしたワークショップ等を実施する。		
主な構成メンバー (敬称略)	リーダー	長谷川(3街区G棟)、山内(向島藤ノ木学区民児協)
	進捗管理	三林(京都文教大学臨床心理学部教授)・杉本(京都文教大学総合社会学部教授)
	地域住民	高木(向島二ノ丸学区民児協)、増田(向島二ノ丸学区子ども見守り隊)日高(二の丸北学区社協)、本田・河野(伏見地区更生保護女性会)、上田(向島中学校PTAOB)、松本・松田(向島藤ノ木学区民児協)、西谷(向島南学区、向島中学校PTAOG)、土橋(MJ学習会運営)他
	事業者	須釜(城南保育園)、丸岡(城南児童館)、大濱(むかいじま健幸プラス)、田中(中部はすの実ひろば)、大下・村井(伏見青少年活動センター)、桐澤・田中・山本(伏見区社協)他
	その他	小林(京都文教大・京都文教マイタウン向島)、美留町(向島駅前まちづくり協議会)、沖野(市住宅公社)、山本(区役所子どもはぐくみ室)、長澤(龍谷大)他
今年度取り組むプログラム・取組	42 43 46 50 52	中学生の勉強場所の確保 「アフター5スクール」づくりの推進 市営住宅各街区集会所等既存施設の活用・改修による必要なサポート実施 夜の安心安全な居場所、食の支援、学習支援 子どもを育てる親世代への支援の拡充
主な活動の報告	第3回 WG会議	○向島二の丸小・向島中跡地利用について a. 8月1日(水)向島中学校「中学生ふれあいトーク」の報告 b. 学校の跡地の暫定利用に向けた活用方法の具体化シート配布・回収案について ○中高生を対象としたアンケート・ヒアリング等の実施について ○PTA並びに小中学校の教員へのWGの情報共有・意見交換について

	第4回 WG 会議	○WG 中間振り返り ○向島二の丸小・向島中跡地 地元利用検討合同ワーキングについて ○中高生を対象にしたアンケート・ヒアリング等の実施について ○留学生との交流事業(案)について
第3回ワーキング 平成30年8月4日(土) 参加者：19名		
○向島二の丸小・向島中跡地利用について a. 8月1日(水)向島中学校「中学生ふれあいトーク」の報告 - 向島地域のまちづくりに子どもの意見を反映させることを趣旨とし、伏見西「はぐくみ」ネットワーク実行委員会が主催した。当日は、中学生(約20名)と地域住民・関係者(約30名)が参加した。 5つのグループに分かれて、中学生と地域住民・関係者が「向島地域の将来」や「向島地域の良いところ」について話し合われた。次の通り、中学生から声が挙げられた。 ①(跡地の利用について)身体を動かせる場所が欲しい。②(将来の向島地域について)自然豊かな環境になって欲しい。③他にも、親切な人が多いイメージがある、このまちに住み続けたい、といった声も挙がっていた。 b. 学校の跡地の暫定利用に向けた活用方法の具体化シート配布・回収案について - 跡地利用の具体的な活用について、若者や親子世代をはじめとする多世代が集う場としての活用が主な意見として挙げられた。 ①(インラインスケートや球技等の)運動を通した若者の活動の場・交流できる場。 ②子育て層が集える親子の交流広場。 ○中高生を対象としたアンケート・ヒアリング等の実施について - 中高生を対象としたアンケート案を作成。WG 後、アンケートの質問項目の追加等については、事務局へ連絡する。 ○PTA 並びに小中学校の教員への WG の情報共有・意見交換について - 向島東中学校を訪問し、アンケートの実施協力等を依頼した。 ○次回 WG 予定 10月6日(土)10:00~12:00 於: 向島学生センターセミナーハウス 2階研修室		
第4回ワーキング 平成30年10月6日(土) 参加者：15名		
○WG 中間振り返り - 取組項目 41-52を確認し、進捗状況について報告ならびに意見交換がなされた。 - 子どもの支援については、着手されている状況である。今後は、親への支援の拡充や次世代の子どもの支援者の育成等を取組む必要があることが確認された。 ○向島二の丸小・向島中跡地 地元利用検討合同ワーキングについて - 向島二の丸小・向島中跡地 地元利用検討合同ワーキングについて報告ならびに質疑応答が行われた。 ○中高生を対象にしたアンケート・ヒアリング等の実施について - 中高生を対象にしたアンケート案を作成した。今後は、10月28日の向島まつりを皮切りにアンケートを始める予定。11月、12月でアンケート実施し回収予定。実施の際、地域住民から依頼し、協力体制を築いていくことが必要である。 ○留学生との交流事業(案)について - 留学生と地域の子どもが交流する「バスツアー」や映画祭等を今年度実施予定である。 ○次回 WG 予定 12月1日(土)10:00~12:00 於: 向島学生センターセミナーハウス 2階研修室		

暮らし安心ワーキング （高齢者・障害者・多文化多世代交流）		担当取組項目：14～17, 53～58	
【第2回推進会議以降の主な取り組み】			
昨年度の取組に引き続き、他都市事例の調査や講演会，ワークショップなどにも取り組んでいく。			
○公営住宅を活用した福祉施設併設例の視察（9月7日）と講演会（調整中）			
視察先：「なごみりあ榎島」，「なかまの家 おうばくホーム」			
講 演：「公営住宅におけるグループホーム等の使用に関する研究」札幌市立大学 山田信博准教授			
○障害のある当事者と住民が共同して進める災害準備のためのワークショップ（9月9日）			
向島二ノ丸学区住民，障害のある当事者，関係機関によるワークショップ			
○向島二の丸小・向島中跡地における暮らし安心ワーキングで想定される地元利用活用案の検討			
中国帰国者の交流拠点，にじいろプロジェクトの活動，福祉拠点，愛隣館の建替時の活用など			
主な構成メンバー （敬称略）	リーダー	黒多（にじいろプロジェクト）	
	進捗管理	齋藤（京都市都市総務課企画調整係長）	
	地域住民	佐々木（向島二ノ丸学区民児協），増田（向島二ノ丸学区社協），日高（二の丸北学区社協），田嶋（向島藤ノ木学区社協），山内（向島藤ノ木学区民児協），宇野（向島東公園愛護協力会），小山（向島公団住宅自治会），福井（二の丸北各種団体連絡協議会），小島（1街区），藤井（3街区），矢吹（5街区），松本（6街区），片桐（7街区），木村（11街区）他	
	事業者	平田，佐藤（愛隣館），岩城，福井（むかいじま病院），谷口（あじさいガーデン伏見），西川（地域包括支援センター），高田，高村（メディケア・リハビリ訪問看護ステーション），清水（リハビリテーション支援センター），森田（NPO 法人おはな），沖野（市住宅公社）他	
	その他	吉村，馬場，杉本，川崎（京都文教大），美留町（向島駅前まちづくり協議会），中嶋，荒木（伏見区役所）他	
今年度取り組むプログラム・取組	14	既存施設の活動拠点としての活用	
	15	市営住宅集会所・空き住戸の改修と活用	
	16	多文化・多世代交流の機会づくり	
	18	街区・学区を越えて誰もが集える多文化・多世代のまちづくりを進めるための拠点の整備の検討	
	19	多文化・多世代のまちづくりを進めるための拠点の運営主体となる住民組織，NPO等設立の検討	
	53	街区集会所等による生活サポート拠点づくり	
	56	健康づくりや文化活動等の事業連携，情報の共有	
	58	総合的な生活支援サービス事業の実施	

主な活動の報告	第2回 WG 会議	○公営住宅を活用した福祉施設併設例の視察について ○障害のある当事者と住民が共同して進める災害準備のためのワークショップ（案）について ○向島二の丸小・向島中跡地 地元利用検討合同ワーキングについて ○その他 ・中国帰国者WGの設置に向けた検討（夕陽紅の会へのヒアリング報告） ・今後の進め方について
	第3回 WG 会議	○公営住宅を活用した福祉施設併設例の報告について ○障害のある当事者と住民が共同して進める災害準備のためのワークショップの報告について ○あしなが育英会による小学校跡地利用の提案 ○向島二の丸小・向島中跡地 地元利用検討合同ワーキングについて ○その他 ・中国帰国者WGの設置に向けた今後の進め方について
	第4回 WG 会議	○公営住宅を活用した福祉施設の活用に係るセミナーの開催について ○障害のある当事者と住民が共同して進める防止活動について ○向島二の丸小・向島中 跡地活用について ○その他 ・11月17日シネマとトーク
第2回ワーキング 平成30年6月16日（土） 参加者：25名		
○公営住宅を活用した福祉施設併設例の視察について ・「なごみりあ榎島」（府営榎島大川原団地）と「なかまの家 おうばくホーム」（黄檗市営住宅）への視察について、8月のお盆すぎから9月上旬にかけて日程調整を行う。 ・札幌市立大学デザイン学部の山田信博准教授が「公営住宅におけるグループホーム等の使用に関する研究」を行っておられるため、現地視察の後に大阪などの活用例についても調査研究に係る講演や視察の報告会を行うことも検討する。 ○障害のある当事者と住民が共同して進める災害準備のためのワークショップ（案）について ・9月9日（日）、向島ニュータウン近辺に会場を確保して向島二ノ丸学区住民、障害のある当事者、関係機関を対象に40名から50名規模を想定したワークショップを企画する。 ・主催は、にじいろプロジェクト、向島二ノ丸学区自主防災会、向島まちづくりビジョン取組ワーキンググループ(暮らし安心WG及び防災WG)、京都市南部障がい者地域生活支援センター「あいりん」、京都文教大学ニュータウン研究会を想定している。 ・午前には防災食の試食。午後は講師の活動報告を行い、現地で具体的にどう進めるかのワークショップのプチデモを行い、その後に関係者が交流するという三部形式を想定している。 ・ワークショップでは向島ニュータウンに居住するタイプの異なる障害当事者と自治会や住民、関係機関がワークショップ形式で個別避難計画を作成する。 ・交流会では関係者と住民が交流すると共に、今後に向けての話し合いを実施する。 ○向島二の丸小・向島中跡地 地元利用検討合同ワーキングについて ・合同ワーキングの報告を行い、当ワーキングで活用が想定される取組の意見交換を行った。 ・中国帰国者の交流拠点、にじいろプロジェクトの活動、愛隣館の建替時の活用などの意見が出た。 ○その他 ①中国帰国者WGの設置に向けた検討（夕陽紅の会へのヒアリング報告）		

- ・にじいろプロジェクトで中国帰国者の方との交流に向けて、映画の上映やシンポジウムを検討している。
- ・言葉の問題もあり、やさしい日本語で共益費のことや防災訓練のことを伝えることや中国と日本の文化の違いを理解することも必要ではないかという意見が出た。

②今後の進め方について

- ・当ワーキングで取り扱う課題は大きく分けて4つあり、プロジェクトチームの形で活動出来ないか、といった課題の提起があった。

○次回 WG

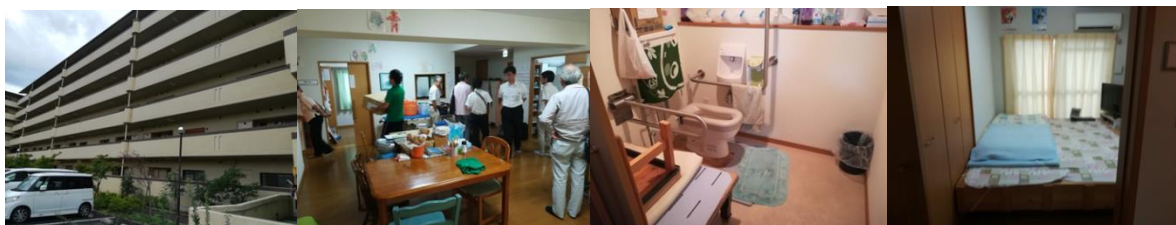
9月22日(土)10:00～12:00 於: 京都文教大学 14号館 14101 教室

第3回ワーキング 平成30年9月22日(土) 参加者: 27名

○公営住宅を活用した福祉施設併設例の報告について

- ・9月7日社会福祉法人宇治東福社会なかまの家「おうばくホーム」と府営住宅榎島大川原団地「なごみりあ榎島」を視察した。20名程度の参加があった。

【おうばくホーム】



【なごみりあ榎島】



○障害のある当事者と住民が共同して進める災害準備のためのワークショップの報告について

- ・9月9日愛隣館で障害者と健常者が一緒に防災を考えるWSを開いた。50名程度の参加者があった。視覚障害者(黒多氏)、車いす利用者(矢吹氏)、知的障害者(森川氏)の3人のケースについて実際に避難計画を立てる試みを行った。

○あしなが育英会による小学校跡地利用の提案

- ・向島二の丸小・向島中学校が来年3月に閉校になった後の小学校跡地をあしなが育英会が活用したいと提案があった。あしなが育英会はアフリカの高等教育100年構想で遺児の支援活動をしているが、日本での活動計画の中で向島二の丸小に入ろうということになった。向島には中国帰国者も多く、多文化共生の素地がある事などがその理由として挙げられている、といった報告があった。

○向島二の丸小・向島中跡地 地元利用検討合同ワーキングについて

- ・中学校のグラウンドの半分を使って福祉拠点を提案したい。今後、市営住宅の空き住戸利用と合わせて検討を行っていく、といった意見があった。

○その他

①中国帰国者WGの設置に向けた今後の進め方について

- ・帰国者は孤立して引きこもりがちである。交流促進を進めるには防災訓練への参加など交流の機会を作る。11月17日に「にじいろプロジェクト」のシネマとトークで中国映画「嗚呼満蒙開拓団」を上映する。開拓団に居た方の体験談を聞かせて貰えることになっている、という報告があった。

○次回 WG

10月20日(土)13:00～15:00 於: セミナーハウス 2階研修室

第4回ワーキング 平成30年10月20日（土） 参加者：19名

○公営住宅を活用した福祉施設の活用に係るセミナーの開催について

- ・空き室活用研究セミナー準備会（仮）の設置に関する提案がされた。

○障害のある当事者と住民が共同して進める防止活動について

- ・避難所の環境整備の問題のほか、避難経路の安全性の問題について国土問題研究所や京都大学防災研究所などの専門家から見解を聴くようなセミナーを考えてはどうか、と提案があった。

○向島二の丸小・向島中 跡地活用について

- ・あしなが育英会の提案について、地域として今後しっかりと関わりを持ち、交流のあり方について意見交換を行いながら進めていく必要がある、といった意見があった。

○その他

①11月17日シネマとトーク

- ・中国帰国者の方からの体験談をいくつかのグループに分かれて聴き、意見交換を考えている。中国帰国者の方を支援していく取組の一つであり、部会の立ち上げを視野に入れている。地域での孤立は、中国帰国者も地域住民も同じ悩みであり、生活のしづらさを皆で解決していく、という報告があった。
- ・また、この取組の後に中国帰国者ワーキングの立ち上げの話を出来れば、という意見があった。

○次回 WG

12月1日(土)13:00～15:00 於. セミナーハウス 2階研修室

中国帰国者・多文化共生ワーキング		担当取組項目：17, 59～64, 67, 95	
【第2回推進会議以降の主な取り組み】			
○ビジョンにおいて、中国帰国者の生活課題の解決や日中交流について、地域ぐるみで取り組むことがうたわれている。中国帰国者の生活課題は言葉の問題による孤立化が背景としてあるが、特別なものではなく、地域に共通する地域ぐるみの課題として解決が求められている。			
・当事者組織である夕陽紅の会を通じて生活課題やニーズを確認した。中国帰国者との交流の機会づくり、暮らし安心WGを母体とした中国帰国者WG（準備会）について、方向性を確認した。①夕陽紅の会の組織づくり（代表者の決定と連絡網づくり）、②交流の機会づくり（中国語チラシの作成と避難訓練への参加、中国映画の鑑賞と交流、向島まつりへの参加）、③中国帰国者ワーキング準備			
・暮らし安心ワーキングの部会であるにじいろプロジェクトが、シネマとトーク「嗚呼 満蒙開拓団」の上映と中国帰国者と地域住民等による交流会を開催した。			
・中国語版のチラシを作成して、避難訓練への参加を支援した。			
主な構成メンバー （敬称略）	リーダー		
	進捗管理	都市総務課、アルパック	
	地域住民	夕陽紅の会、学区社会福祉協議会 他	
	事業者	こうふく介護サービス、京都市向島地域包括支援センター、むかいしま病院 京都市社会福祉協議会 他	
	その他	京都文教大、京都市総合企画局国際化推進室 他	
今年度取り組むプログラム・取組	17	留学生・中国帰国者等と子どもたちの文化交流促進	
	59	中国帰国者等の生活課題、ニーズや自助グループの活動におけるニーズを把握し、支援策等を検討	
	60	中国帰国者等とのネットワークづくり	
平成30年度 主な活動の報告	にじいろプロジェクト シネマとトーク 嗚呼 満蒙開拓団（11/17） 中国帰国者と地域住民の交流会 中国語チラシの作成と避難訓練への参加 二の丸北学区避難訓練（10/14）、向島二の丸学区避難訓練（11/11）、 向島藤ノ木学区避難訓練（11/25）		
にじいろプロジェクト シネマとトーク 嗚呼 満蒙開拓団（11/17）			
・中国帰国者との交流の機会づくりとして、暮らし安心ワーキングの部会であるにじいろプロジェクトが、シネマとトーク「嗚呼 満蒙開拓団」の上映と中国帰国者と地域住民等による交流会を開催した。			
主催 にじいろプロジェクト			
日時・場所 11/17（土）午後1時半～4時 5街区集会所			
内容 映画「嗚呼 満蒙開拓団」の鑑賞と交流			
・約85名の参加があった（中国帰国者23名、地域住民等52名、京都文教大学から通訳の先生・学生7名）。			
・映画の鑑賞後に小グループに分かれて中国帰国者から体験談を伺い、交流会を行った。			
・中国帰国者と地域住民の相互理解の機会となったことから、中国帰国者ワーキングの準備に活かしていく			

向島大学系列

第3回「电影谈话会」の指南

向島新城市に暮らす多くの中国帰国者、其中有些人不会说日语、被地域孤立、生活十分艰辛。其实不只是中国帰国者、日本人也有人在面对同样艰苦的生活、双方有必要相互理解。一场通过电影来交流心声的契机。为了让中国帰国者能更好地理解日本社会、我们特地将一起看电影交流心声的“电影谈话会”活动、看完电影后、中国帰国者的大家可以畅所欲言、分享自己的经验之谈、请务必参加。

入场免费、所有人都可以参加。

【时间】2018年11月17日（周六）13:30～16:00

【地点】向島市営住宅5街区集会所

【鉴赏作品】《嗚呼 満蒙開拓団》（2008年的日本电影）

嗚呼 満蒙開拓団

入场免费

コーヒー、お菓子の
ふるまひあり

【主催】紅色計畫（にじいろプロジェクト）
【協力】向島市中国帰国者支援会、生活福祉中心、京都文教大学新城市分會、愛知府・京都府障害者地域生活支援中心「愛あけ」
【告知】紅色計畫事務局（负责人、佐藤）1075-604-6159

电影介绍
満蒙开拓団は1931年九一八事变后、被日本政府强制移民到中国大陸の満洲、内蒙古の地に开拓した。其中中国帰国者も日本に帰国した約27万人の开拓団に属した。其中約8万人は国境を越え日本に渡り、京都府に无国籍者として入国した。为什么会发生这样的悲剧呢？本片正是介绍这段悲剧的历史、向岛市及京都市的开拓団。



中国語チラシの作成と避難訓練への参加

向島二の丸学区避難訓練（11/11），向島藤ノ木学区避難訓練

- ・小学校区の避難訓練について中国語チラシを作成し，避難訓練への参加を支援した。



○今後の取組

中国帰国者WG（準備会）
（平成30年度内）

地域ぐるみで中国帰国者との交流や生活課題を考える準備会の開催

防災ワーキング		担当取組項目：68～87
【第2回推進会議以降の主な取り組み】 ○平成29年度に検討を進めてきた「市営住宅空き住戸の緊急避難所（水害時垂直避難）」としての活用に向け、5街区市営住宅の1住戸をモデルとした運営体制・方法、避難対象と想定される住戸への個別訪問、訓練・検証内容を向島二ノ丸学区自主防災会等、関係する組織や会議とも連携して準備を進め、検証する準備ができた（ステップアップサポート事業の助成金を申請） ・ 5街区市営住宅空き住戸の緊急避難所としての運営・管理体制の仮案を整理。 ・ 上記案をもとに、5街区市営住宅空き住戸の緊急避難所としての利用訓練・検証を実施予定。 ・ 利用訓練・検証に向けて、個々人の避難行動計画づくり、避難支援体制づくりを進めるため、地域包括支援センター、向島二ノ丸学区自主防災会等と連携して、モデル住戸のある棟の1・2階住戸への個別訪問を行い、ニーズを整理した。 ・ 暮らし安心WGや愛隣館、京都文教大学と連携をしながら、災害時要配慮者の個別避難計画ワークショップを実施。また、各学区の防災訓練への災害時要配慮者の積極的な参加を呼びかけ、実施した。 ・ 上記については一定進捗していることから、さらに今後率先して取り組むべきことについて検討を始めている。		
主な構成メンバー (敬称略)	リーダー	珍田（向島藤ノ木学区自主防災会）、書記：佐藤（愛隣館）
	進捗管理	伏見区役所総務防災担当、京都市都市総務課
	地域住民	珍田（向島藤ノ木学区自主防）、岡崎（二の丸北学区自主防）児玉（二の丸北学区自主防）、増田（向島二ノ丸学区自主防）、矢吹（日本自立生活センター（向島二ノ丸学区））、上代（向島学区自主防災会）、野崎（向島南学区自主防災会）、奥田（向島南学区）、福井（二の丸北学区各種団体連絡協議会）、橋本（10街区自治会） 他
	事業者	佐藤（愛隣館）、西川（地域包括支援センター）、桐澤（伏見区社協） 他
	その他	杉本（京都文教大）、谷本（伏見区役所総務防災担当）、伏見消防署向島出張所 他
今年度取り組むプログラム・取組	68 69 70 72 73 75 76 77 78・79 81	災害想定周知 防災準備状況の定期チェックとノウハウ共有 配慮必要な住民の情報共有とニーズ調査 周知媒体、マニュアル等の情報バリアフリー化 多様な（二重三重の）情報発信 災害時要配慮者の避難誘導、支援の関係、体制づくり（関連：74 避難行動シートづくり） 防災訓練の見直し、充実（訓練への多様な人の参加） 地域防災組織の充実 空き家の避難所活用とマニュアル・ルールづくり ニュータウン全体の公園への防災設備設置
主な活動の報告	第4回 WG 会議	○5街区市営住宅空き住戸の緊急避難先利用管理・運営方法の検討 ○同上 利用検証方法の検討 ○個別避難計画作成ワークショップの案内

	第5回 WG 会議	○5 街区市営住宅空き住戸の緊急避難先利用管理・運営方法の検討 ○同上 利用検証・訓練の検討 ○向島5 学区防災訓練の日程 ○個別避難計画作成ワークショップの報告
	第6回 WG 会議	○5 街区市営住宅空き住戸の緊急避難先利用検証方法の検討 ○今年度後半の取り組みについて
第4回ワーキング 2018 年 7 月 28 日（土）参加者：12 名		
○5 街区市営住宅空き住戸の緊急避難先利用管理・運営方法の検討 ・5 街区1 棟4 1 0 号室（緊急避難先空き住戸）を7 月1 8 日に視察。火事からの避難者用の空き住戸のためすぐ使える状態だったが、照明など備品類は何もなかった。また、玄関は車いすではギリギリ入れるが、土間の段差は難しかった。 ○同上 利用検証・訓練の検討 ・地域包括支援センターより、「わが家の避難計画」を提出されていない高齢者世帯も多いとの報告あり。8 月3 0 日の地域ケア会議でケアマネからも提出するように話をしてもらう予定。 ・訓練の中身を練る作業部会を9 月8 日（土）午前1 0 時に行うことにした。 ○個別避難計画作成ワークショップの案内 ・9 月9 日（日）1 1：0 0～1 6：0 0 国立リハビリテーションセンターの北村先生を講師に招き、身体・視覚・知的障がいのある方3 名の個別避難計画を作る。災害時要配慮者の避難計画を地域の方々とも作っていく。 ○向島二の丸小・向島中跡地地元利用について ・あしなが育英会からの構想提案の報告。 ○次回ワーキング会議 9 月2 9 日（土）午前1 0 時～ 場所：向島学生センターセミナーハウス 以上		
第5回ワーキング 2018 年 9 月 29 日（土）参加者：12 名		
○5 街区市営住宅空き住戸の緊急避難先利用管理・運営方法の検討 ・向島二ノ丸学区自主防災会による協議結果を共有した（空き住戸の鍵はキーボックス管理等） ○同上 利用検証・訓練の検討 ・京都市ハザードマップで浸水被害の恐れのある1～2 階の住民を対象とする。対象世帯は、5 街区1 棟の1～2 階の全住民で1 5 世帯（うち、高齢者世帯は9 世帯）。 ・課題を洗い出す必要があるため、今回はシミュレーション訓練を行う方がよいとの意見あり。そのため、次の二ノ丸自主防災会議にて要検討。 ○向島5 学区の防災訓練の日程 ・1 0 月1 4 日（日）：二の丸北，1 1 月1 1 日（日）：向島南・向島二ノ丸，1 1 月1 8 日（日）：向島，1 1 月2 5 日（日）：向島藤ノ木 ○個別避難計画作成ワークショップの報告（9 月9 日（日）開催） 国立リハビリテーションセンターの北村先生を講師に招き、身体・視覚・知的障がいのある方3 名の個別避難計画を作成した。5 0 名以上の参加だった。地域としてできることを考える良い機会となった。今後、高齢者や中国帰国者なども行えるように検討していく。 ○その他 ・今年度後半の防災 WG の取り組みについて、取り組み目標の資料を読み込む。 ・ビジョン期間が終了しても、5 学区で組織体をどのように作っていくか課題。 ○次回ワーキング会議 1 0 月2 6 日（金）午後4 時～ 場所：向島学生センターセミナーハウス 以上		

第 6 回ワーキング 2018 年 10 月 26 日（金）参加者：13 名

○5 街区市営住宅空き住戸の緊急避難先利用検証・訓練の検討

- ・向島二ノ丸学区自主防災会による協議結果を共有した（検証訓練はシミュレーションではなく、実際に対象世帯に参加を呼びかける。参加できない世帯は役員がその世帯を見立てる）。
- ・検証訓練は 11 月 30 日（金）午前 10 時に行う。
- ・事前に対象の 15 世帯にヒアリングを行う。（地域包括支援センターが 4 世帯、向島二ノ丸自主防災会が 11 世帯をヒアリング予定）。
- ・ステップアップサポート事業の助成金を、検証訓練のまとめや今後のマニュアル作り等に活用する。

○今年度後半に防災 WG で取り組むことについて

- ・液状化への対策について、中学生の防災訓練参加へのアプローチ、二の丸北学区の「無事ですカード」の共有、日本語を母語とされない方々への情報発信等のバリアフリー化（カード・中国語版のポスター作成・わかりやすい日本語の工夫など）について検討を進めるアイデアが出された。

○向島二の丸小・向島中跡地地元利用について：防災の視点から

- ・統合校開校後、向島中学校跡地も避難所となりうるか。また、備蓄品の保管場所等の課題。

○次回ワーキング会議

12 月 15 日（土）午後 2 時～ 場所：向島学生センターセミナーハウス

以上